

友愛活動の見直しをする理由

資料 8-2

見直し理由 1

対象者

孤立するおそれのある高齢者は、ひとり暮らしか否かに関わらず、人とのつながりを図る必要があるため

例：在宅介護のため、人との交流が乏しい高齢夫婦世帯 等

なお、障害や認知症、閉じこもり等により、孤独感の緩和が必要な65歳以上の方についても、引き続き対象となるよう柔軟に対応して行きます。

見直し理由 2

開催頻度・上限

孤独感を和らげるには、定期的な交流を図る必要があるため

同居者以外の人との交流が、

⇒ 月1回から週1回未満の場合、要介護認定や認知症に至りやすい。

月1回未満の場合、早期死亡にもつながる。

出典：齊藤雅茂, 近藤克則, 尾島俊之: 健康指標との関連からみた高齢者の社会的孤立基準の検討: 10年間の AGESコホートより. 日本公衆衛生雑誌 62 (3): 95-105, 2015

見直し理由 3

声かけ訪問活動の内容

今後の高齢者の増加に備え、活動しやすい方法へ変更することにより、ボランティア団体の負担軽減を図るため

【友愛活動 声かけ訪問例】

例 1 「お変わりないですか」と気軽に自宅を訪問

例 2 ちらしなどの配付物を届ける際に、「暑い日が続きますね。」などと声かけ

例 3 電話を使って、声かけや傾聴

訪問時に把握した高齢者の困りごと相談については、本人の了承を得て、地域包括支援センターや民生委員などへつなぐ。